

東京基礎研究所 TRL 技術展示会を開催

ビジネスのヒントや種となるTRLの最新テクノロジーが一堂に。



来場者でにぎわうデモンストレーション会場

ワールドワイドのIBMリサーチ部門の拠点の一つであるTRLでは、研究開発により蓄積された技術や人材のリソースを、日本アイ・ピー・エムの営業サービス/コンサルティング担当者を通じてお客様に積極的に提供するために「東京基礎研究所(TRL)技術展示会」を定期的で開催。2003年8月5日(火)に開かれた展示会は社内およびプレス向けであることから、一般のお客様には公開されませんでした。ビジネスのヒントや種となるTRLの最新テクノロジーが一堂に集まる機会であったため、誌上で再現することにします。

TRLの最先端テクノロジー

TRL(Tokyo Research Laboratory: 東京基礎研究所)は、ワールドワイドに展開しているIBMリサーチ部門の拠点の一つです。TRLから生み出される最新テクノロジーは、IT(Information Technology: 情報技術)の動向に大きな影響を与えていますが、その活動内容は意外なことに多くの日本アイ・ピー・エムの社員

にも詳しくは知られていません。

東京基礎研究所テクニカル・ストラテジー&オペレーションズ担当 森本典繁は「そうですね。TRLはワールド

ワイドのIBMリサーチ部門の傘下にあるとはいえ、研究所そのものは日本アイ・ピー・エムの大和事業所内にあります。ですから、日本アイ・ピー・エムの営業部門やコンサルティング部門と一緒にプロジェクトに取り組むことも少なくありませんが、なかなかTRLのテクノロジー全般について知ってもらう機会がないのも事実です。というのは、社員がTRLと一緒にプロジェクトに取り組んだとしても、TRL全体の技術を把握するのは難しいでしょう。しかしTRLには、お客様のビジネスに役立つ最新技術がたくさんあります。少しでも多くの社員にTRLの技術を知ってもらうアプローチが必要だと日々考えていました。

また、IBMは最近ではますますサービス事業を重視していますが、「リサーチ部門もサービス事業への貢献を拡大すべきである」という方針の下、2002年秋にはODIS(On-Demand Innovation Service)という枠組みを発表し、研究員もサービスやコンサルティングのプロジェクトに参加して、お客様のニーズや問題にオンデマンド的に対応していこうということになりました。この点からも、より多くの社員にTRLのテクノロジーを知ってもらいたいと考えています」と語ります。

東京基礎研究所 TRL 技術展示会を開催

こうした動きの具体化の一つが「東京基礎研究所(TRL)技術展示会」です。3年前に初めて開催して大変好評だったことから、昨年から、2月の社内向け、および8月の社内およびプレス向けの年2回の展示会を定期的で開催するようになりました。

今年2回目の展示会は、8月5日(火)に日本アイ・ピー・エム箱崎事業所にて開催され、午前中には多くの社員が訪れ、デモを担当する研究員の説明に熱心に耳を傾けたり、意見や質問を交わす姿が見掛けられました。また、午後には新聞・雑誌・Web媒体などの記者の方々を招き、別会場でセミナーを実施後、展示会場において技術の紹介とデモを行いました。

「展示会は、ビジネスのヒントや種となるTRLのテクノロジーを公開するという趣旨です。ほかの事業所の社員には、なかなかTRLのある大和事業所まで来てもらう機会がありません。サービスやコンサルティングのプロジェクトで中心メンバーとして活躍している社員ほど、忙しくて時間が取りにくいだろうということから、営業部隊の拠点となっている箱崎事業所で開催しました。

特に今年はODISというリサーチ部門の方針が打ち出されたせいも、より多くの社員に来てもらえ手ごたえを感じています(森本)。



森本 範繁



多彩な研究プロジェクトを紹介

今回の展示会には、四つのテーマに分類された14の研究プロジェクトが出展されました。

ライフ・サイエンス

- 細胞・生体シミュレーション: 京都大学との共同研究

コンピューター上で生きた心臓の動きをシミュレーションする技術です。

- バイオ・インフォマティクス: 遺伝子発見技術BDGF

生物のDNAから遺伝子領域をコンピューター上で同定したり、その挙動を解析します。

- MedTAKMI: ライフ・サイエンス向けテキスト・マイニング・システム

自然言語技術と階層化された概念体系を用いて、さまざまな観点から文書集合を分析する技術です。

- GEAR: グリッド環境におけるアプリケーション・資源管理ミドルウェア
グリッド環境におけるデータの配置などを管理するミドルウェアです。

アクセシビリティ

- らくらくWeb散策

IT初心者や、視力の低い方、目の疲れやすい方でも、Webページを快適に閲覧できるための技術です。

- 音声によるデジタル・メディアへの字幕付与技術

音声認識システムViaVoice®をベースにした字幕を付与する技術です。

- アクセシブルなWebアプリケーション作成環境

音声アクセスや、弱視者の方々へのユーザビリティを評価するツールです。

オンデマンド・コンピューティング・テクノロジー

- 統合パフォーマンス分析ツール
Webアプリケーションのパフォーマンス・テストを容易に設定・実行する技術です。

- e-CRM(Customer Relationship Management)のためのプライバシー管理

企業において統一されたプライバシー・ポリシーの管理・運用をサポートする技術です。

- Webサービス・セキュリティー
WebSphere®アプリケーション・サーバー5.0.2に搭載されたWebサービス・セキュリティー技術です。

- TCGセキュリティー・チップを使ったセキュアなプラットフォーム

ThinkPad®に標準搭載されているTCG(Trusted Computing Group)準拠のハードウェア・チップの紹介です。

- エージェント・サービスを実現するためのエージェント・フレームワーク
エージェント・プログラミング・モデルとそのフレームワークの紹介です。

- ThinkPadにおけるリサーチ・テクノロジー

新型ThinkPadに搭載されているリサーチの最新技術の紹介です。

- ODIS(On-Demand Innovation Services)

- 製造 / 流通分野での最適化技術
“ 困難な最適化問題 ” を解決する例として、製鉄メーカーにおける生産スケジューリング・アルゴリズムの紹介です。

お客様にTRLの最新テクノロジーを知っていただくために

展示会に足を運んだ社員は、TRLの最先端のテクノロジーを目の当たりにできただけではありません。各展示の説明

は実際にそのテクノロジーに取り組んでいる研究員が行いますから、研究内容だけでなく、その研究の生まれた背景や、その研究にどんな思いが込められているのかということまで知ることができます。

「ですから、一つひとつの研究を詳細に見てもらうのはもちろん、TRLがどんな環境と雰囲気の中で研究開発に取り組んでいる集団であり、しかもサービスに貢献しようというモチベーションが高いということも実感してもらえればと思っています。人と人とがつながることにより、ビジネスにもつながっていくのではないでしょうか(森本)

実際、今まで開催した展示会を通じて、お客様への提案に結び付いたケースも何件かあるということです。

残念ながら展示会は社内およびプレス向けということで、一般公開はされませんでした。外部に公開できるものはTRLのWebページで常時掲載しています(<http://www.research.ibm.com/tr/>)。また、展示会に出展できる研究プロジェクトは十数点が限界であり、それ以外にもTRLが取り組んでいる研究プロジェクトは主なものだけでもその倍以上あり、やはり公開可能なものは掲載されています。ビジネスにつながりそうな研究プロジェクトをサイト上で見つけたら、気楽にコンタクトを取ってほしいとのことでした。

